

役員及び評議員の報酬等に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、社会福祉法人野迫川村社会福祉協議会（以下「本会」という。）の定款第10条及び第25条の規定により役員及び評議員（以下「役員等」という。）の報酬等に関し必要な事項を定めるものである。

(定義等)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の定義は、次の各号に定めるところによる。

- (1) 役員とは、理事及び監事をいう。
- (2) 非常勤役員とは、常務理事以外の役員をいう。
- (3) 報酬等とは、役員等に支払う報酬及び費用をいう。
- (4) 報酬とは、本会の理事会、評議員会、監事会等の会務（以下「会務」という。）の職務執行の対価として受ける財産上の利益であつて、その名称の如何を問わない。また、費用とは明確に区分されるものとする。
- (5) 費用とは、会務の職務執行に伴い発生する旅費、手数料等の経費をいう。

(報酬等の支給)

第3条 役員等に対して、会務に応じて次の通り報酬等を支給する。

- (1) 非常勤役員 別表 1 に定める報酬額
 - (2) 評議員 別表 2 に定める報酬額
- 2 前項第1号の合計の報酬総額の上限は 280,000 円とし、第2号の報酬総額の上限は定款に定める額とする。

(費用)

第4条 役員等が会務のため出張したときは、本会旅費規程に基づき旅費を支給する。

2 役員等が会務の遂行に当たって旅費以外の手数料等の費用を要する場合は、当該費用を支給する。

(報酬等の支給方法)

第5条 非常勤役員及び評議員に対する報酬等は、本会の会務に出席の都度、現金にて支給する。

(公表)

第6条 本会は、この規程をもって、社会福祉法第59条の2第1項第2号に定める報酬等の支給の基準として公表するものとする。

(改廃)

第7条 この規程の改廃は、評議員会の決議を経て行う。

(補則)

第8条 この規程に定めのない事項については、会長が別に定めるものとする。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

現行の「役員の報酬等に関する規程」及び「評議員の報酬等に関する規程」は、令和4年4月1日をもって廃止する。

別表1 非常勤役員の報酬額（第3条第1項第1号）

- | |
|--------------------------------------|
| (1) 日額 6,000 円 |
| (2) 財務管理について識見を有する監事の監査会務 日額 6,000 円 |

別表2 評議員の報酬額（第3条第1項第2号）

- | |
|----------------|
| (1) 日額 6,000 円 |
|----------------|